

校区の概要

学校は東経 133° 08'、北緯 35° 14'、海拔 297m にあり、飯梨川の上流約 40km、地域の中央を東西に県道草野横田線、南北に国道 432 号線が通る。県道と国道は拡張され、交通事情はどんどん改善されている。東比田は海拔 370m の山間地域、西比田は海拔 300m の高原性盆地にある。

南東には約 861m の猿隠山がそびえ、山頂からは中国山地の連山や日本海、弓ヶ浜半島が見渡せる。西比田には古来タタラの神を祀る金屋子神社がある。昭和 20 年頃まで金屋子タラで製鉄をしていた。東比田には牛の神を祀る縄久利神社がある。

世帯数は約 430 戸、人口は 1、500 有余人、産業は米作・和牛飼育などの農業や林業が中心である。近年は国道 432 号線などの幅員が広がり、近隣市町への通勤者も増加している。UターンやIターンを奨励しているが、児童数の減少は著しい。

学校の沿革

平成 16 年

- 4 月 1 日 東比田小学校と西比田小学校を統合し、比田小学校を開設
- 4 月 2 日 比田小学校開校式
- 9 月 15 日 学力向上フロンティア事業公開授業研究会（1・3 年）
- 10 月 14 日 学力向上フロンティア事業公開授業研究会（5・6 年）

平成 17 年

- 9 月 1 日 学校評議員会発足

平成 19 年

- 3 月 7 日 刺繍校章旗新調（教育後援会）
- 3 月 28 日 「みんなで調べる中海流入河川調査」県知事賞受賞
- 4 月 1 日 3・4 年生複式となり、教員定数 1 名減
- 8 月 19 日 旧比田中学校校舎へ移転
- 10 月 31 日 広瀬ブロック人権・同和教育研究会授業公開

平成 20 年

- 3 月 28 日 「みんなで調べる中海流入河川調査」県教育長賞受賞
- 4 月 2 日 金銭教育研究指定(平成 20～21 年度)

平成 21 年

- 3 月 27 日 「みんなで調べる中海流入河川調査」県知事賞受賞

平成 22 年

- 4 月 1 日 学校図書館司書配置

平成 23 年

- 4 月 1 日 「かがやき学級」新設

平成 24 年

- 11 月 22 日 広瀬中ブロック人権・同和教育研究会会場校（2 年、5・6 年）